

弓達 秀樹 議員



(二括質問方式)

- ①山鳥坂ダム建設
- ②四国霊場めぐりお遍路さんへのお接待所
- ③共同墓地・永代供養墓の設置推進

山鳥坂ダム建設について

問 山鳥坂ダム建設、鹿野川ダム改造工事、国、県による堤防整備の3つの大きな事業によって、肱川流域の治水安全度がより一層高まるのであれば、流域住民にとっては大変ありがたいことである。早期着手、完成を望むところである。

これほど莫大な国費を捻出し進

められている山鳥坂ダム建設について、中心市街地住民の方にはダム建設が行われることさえ知らない方もいる。市民の皆様に向けてもう少し丁寧にその必要性、進捗状況などを定期的に説明するべきではないか。

答 これまで国では広報紙の発行、ホームページなどを使って幅広く周知されており、本市においても地区懇談会などの機会を通して事業の必要性や効果、進捗状況などの説明を実施しています。広報大洲では、今年度から国土交通省大洲河川国道事務所、また山鳥坂ダム工事事務所だよりとして国土交通省の情報を年数回の予定で、7月号から掲載を開始しています。

四国霊場めぐりお遍路さんへのお接待所について

問 四国遍路は弘法大師ゆかりの八十八箇所の霊場、寺院をめぐる日本を代表する巡礼文化である。近年、四国八十八カ所霊場と遍路道を世界遺産登録しようという機運が高まっており、その普遍的価値を証明し、国内の世界遺産暫定一覧表への追加記載を目指している。

永徳寺太師堂、通称十夜ヶ橋は、番外霊場の中でも随一と評されており、市の取り組みとして、十夜ヶ橋に向かう道筋に札掛ポケットパーク程度のお遍路休憩所をつくることは可能か。

答 建設には候補地の選定や土地の取得といったさまざまな課題があり、早急な対応は困難ではないかと考えていますが、遍路文化につきましては日本遺産や広域観光周遊ルートの認定により見直されているところでもありますので、観光振興といった側面や民間の整備事例なども参考に検討していきたいと考えています。

永徳寺太師堂（通称十夜ヶ橋）



共同墓地・永代供養墓の設置推進について

問 現在、本市では永代供養墓、永代供養塔のある寺社などは情報案内などにも出ておらず、時代のニーズに合った形としての永代供養ができるよりどころはほとんどない。今後自治体に期待される役割は一層大きくなっていくと同時に、超高齢社会におけるこのような状況を看過することはできないと考えるが、多様化するニーズに対応するように市独自の共同墓地、永代供養墓を今後推進し、設置するような考えはないか。

答 墓地の新設については、法律により厳しく制限されており、また、市において永代供養墓塔を設置するには、宗教上の問題、いわゆる宗教信仰は自由であることから、全てを一堂に会することはさまざまな弊害を招くおそれもあり、今後関係者からの御意見なども伺いながら、慎重に検討を重ねる必要があると考えています。

